

第3号様式

令和3年度 第4回東部公民館運営審議会会議録

(令和3年12月 作成)

- 1 開催日時 令和3年12月9日(木) 午後3時31分～午後5時48分
- 2 開催場所 東部公民館 2階 会議室2
- 3 出席者
 - (1) 委員 大塚委員長、舟橋副委員長、加瀬委員、岸波委員、吉田委員、牧野委員、木下委員
 - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長、飯山満公民館長、薬円台公民館長、東部公民館館長補佐
- 4 欠席者 古池委員
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっては、その理由
 - 公開 (1) 公民館事業報告(9月16日～12月8日)について
 - (2) 公民館事業計画(12月9日～3月31日)について
 - 非公開 (3) 社会教育団体登録申請(新規)について

※非公開理由 船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報(個人に関する情報)を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
 - 公開 (1) 公民館事業報告(9月16日～12月8日)について 承認
 - (2) 公民館事業計画(12月9日～3月31日)について 承認
 - 非公開 (3) 社会教育団体登録申請(新規)について 承認
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和4年3月24日(木) 午後3時30分から
- 10 問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

令和3年度 第4回 東部公民館運営審議会
議事録

日	時	令和3年12月9日(木)
		午後3時31分～5時48分
会	場	東部公民館 2階 会議室2

午後 3 時 3 1 分開会

○事務局（東部公民館長補佐）

定刻となりました。ただいまより、令和 3 年度第 4 回東部公民館運営審議会を開催します。

会議に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。

事前に郵送をさせていただきましたクリーム色の冊子、「令和 3 年度第 4 回東部公民館運営審議会」の資料、本日机の上に配付させていただきました「社会教育関係団体登録申請書」です。ございますでしょうか。

資料のうち、机の上に配付させていただきました社会教育関係団体登録申請書につきましては、個人情報に関する情報が含まれておりますので、会議終了後に回収をさせていただきたいと思っております。机に上に残していただければと思います。

それでは、まず初めに、東部公民館長 金子よりご挨拶をさせていただきます。

○東部公民館長

皆さん、こんにちは。

すっかり寒くなりまして師走らしい気候になっております。公民館は 10 月 1 日から利用が再開されて、今のところ市内のコロナウイルス感染者も、12 月 3 日以降は毎日 0 人ということで陽性の確認者は出ておりません。3 日までにどれぐらいの方が市内で感染確認されたかということをお知らせ申し上げますと、市の保健所に発生届があったのが 1 万 2, 211 人、ただし、ほかの保健所からの発生者も合わせますと、1 万 3, 060 人の方が市内でコロナウイルスの陽性ということが確認されたデータでございます。

公民館のほうも、1 年前の 2020 年 12 月 26 日から年をまたぎまして 3 月 31 日まで休館という処置を取っていた期間であります。それ以降についても、4 月 20 日から 8 月 31 日までの間は、夜 18 時から 21 時の夜間の利用を停止しておりました。さらに、感染が拡大した第 5 波の中では、9 月 1 日から 9 月 30 日、再び休館という扱いでご利用を制限させていただいております。それに伴い、公民館運営審議会も第 3 回については皆さんに書面会議という形での参加をいただき、誠にありがとうございました。皆様から書面表決もいただきまして、結果についてはこちらから郵送させていただいたとおりになります。また、書面表決でありながらも委員の方から貴重なご意見を頂戴いたしまして、次回、書面表決みたいな形での公民館運営審議会は開きたくないのですが、十分その際の参考となる資料となりましたので、ここで改めて御礼申し上げます。

続きまして、コロナワクチンのほうの情報でございます。市のほうでは第 3 回目、皆さんニュース等で耳にしていらっしゃると思いますが、オミクロンの対処法として 3 回目のブースター接種が非常に効果があるだろうということで、市のほうでも 2 回接種から原則 8 か月以上、国のほうでは 6 か月前倒しという話もありますが、今のところ市で

は8か月たった18歳以上の方に対して随時3回目の接種券を、令和3年4月以前に受けた方には11月26日に発送しております。これは恐らく全て医療従事者の方になると思われれます。また、6月に2回目接種が終わった方については、3回目の接種券を令和4年1月中旬ごろから随時発送を開始するようでございます。それに伴い、皆さんも3回目の接種を受けていただく形になろうと思いますが、オミクロン株、こういった状況かというのは、まだよく分かっていないという現状の中で、デルタ株よりも感染力が強いということでニュースなどでは挙がっております。その接種券が届きましたら、皆様もそのタイミングに合わせて順次接種をしていただくことによって、さらなる第6波を迎えないような対策を市のほうもしていきたいと思っておりますので、皆さんも十分ご注意なさっていただきたいと思っております。

では、令和3年度、今年最後の公民館運営審議会という形になりますので、どうぞよろしく願いいたします。

私からは以上となります。

○事務局（東部公民館長補佐）

続きまして、大塚委員長からご挨拶をよろしく願いいたします。

○大塚委員長

大変遅くなりまして申し訳ございません。

今、金子館長さんからお話があったように、2年にわたってコロナウイルスの関係、最後に来てオミクロン株という形で、テレビ放送しか分かりませんが、それほど重症者が出なくて軽い症状だけれども油断しないでくださいと。皆さんももう飽きてきて、夜徘徊する方も多いかなど思ったのですが、先ほどのお話で船橋は12月に入って1日だけ3人で、あとは全部ゼロだというお話があるので、市民の方も十分理解されているのではないかなと思います。我々としては、今一番頭の中に入れておかなければいけないかなど。

行政のほうも大変だと思います。公民館さんから保健所のほうに行ったり、いろんな荷重がかかってきていると思いますし、第3回の市議会だよりNo.248の内容を見ても、なかなか進んでいないところもあります。

それから、来年1月の新春の賀詞交歓会も中止となりました。66団体の方が毎年300人を超える人数でおこなっておりました。

公民館さんも長い時間、本当にご苦労さまでしたとしか言いようがないので、今後、活動がこのまま進めばいいなと思います。委員の皆様においても、公民館のそれぞれのセクションにおられる方々がバックアップして、いい活動をまた進めたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございました。

事務局より本会議の成否につきましてご報告をさせていただきます。

ただいま、委員8名のうち7名の方にご出席をいただいております。船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定により、委員の半数以上のご出席をいただいておりますので、この会議は成立しております。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。また、本日は、運営審議会の傍聴希望はございませんでした。

それでは、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長が議長となります。大塚委員長、議事進行をお願いいたします。

○大塚委員長

挨拶の中でお話ししなかったのですが、実は、過日、公民館に見学に行かせていただきました。1つは習志野台公民館の「電話 de 詐欺」というのを見学させていただきました。警察署と市役所の方が来て、なかなかいい話をされていました。次に薬円台公民館は寿大学の防災グッズのつくり方というので大変楽しい工作。もう1つは、今テレビでもいろいろ出ていますけれども、年配の方に対しての詐欺で、7,000万円の着物を買わされたとか、いろんな問題が出ている。公民館として、地味ですけれども大変いいことをやっておられるなということで、見学をさせていただいてありがとうございました。まず一言お礼を申し上げます。

それでは、本日の議事に入らせていただきます。

次第(1)の「公民館事業報告(9/16~12/8)について」、東部公民館長さんから順次説明をお願いしたいと思います。委員の皆さんのご意見は、全公民館からご説明を受けた後、頂戴したいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、東部公民館長さん、よろしくをお願いいたします。

○東部公民館長

令和3年9月16日から12月8日までの東部公民館の事業報告をさせていただきたいと思っております。

最初に、青少年事業ですが、「ハッピーサタデー事業」は、前原児童ホームにおきましてアースドクターふなばしさんを講師にお迎えしての「こどもエコ教室」を実施いたしました。

次にあります「職業講演会」ですが、前原中学校さんと毎年共同で行っている事業ですが、今年度はコロナの影響によりまして子どもたちからのアンケートもままならない中での開催については、来年度以降また実施していこうということでお話しさせていただいております。

続いて、成人の部になりますが、「子育てサロン『ランラン』」につきましては、おたのしみ運動会ということで子どもたちの密を防ぐことができないことから、あえなく

中止という形を取らせていただいております。

続いて、「子育てサロン『アイアイ』」、「おしゃべり広場」、「子育て支援事業『親子でリトミック』」、「子育て支援事業『絵本 LIVE～はらぺこあおむし』」等は、記載のとおり事業を実施することができました。おしゃべり広場は12月2日の人数の記入がございません。ご記入をお願いいたします。全体で38人、子どもは男の子4人、女の子15人、保護者は女19人、以上でございます。

続いて、「家庭教育セミナー」、二宮小学校PTAさんと一緒に行う家庭教育セミナーについて、こちらも記載のほうをお願いいたします。参加人数は全体で115人、男子児童49人、女子児童45人、保護者は女性21人でございます。今回、体育館で家庭教育セミナーを行って、例年でありましたら児童と保護者の方一堂に会して一部制という形で実施しておりましたが、今回については、一部が児童2クラス、二部が児童1クラスと保護者の方を体育館に集めて実施をさせていただいております。

続いて、「本館家庭教育セミナー」については、11月20日、28日の両日、東部公民館が中心になって「地域でつながる子育て講演会」、毎年実施しているものですが、子育てサークル連絡会の協力を得て実施しております。

次に、「就学時健診等における子育て学習」は、11月26日の二宮小学校の参加人数の記入もお願いいたします。全員で91人、男5人、女86人、以上でございます。

就学時健診等における子育て学習につきましては、入学前のお子さんの健康診査を受けるために保護者の方を含め皆さんが学校に集合するという機会になります。東部公民館等で行う家庭教育セミナーにつきましても、やはり家庭教育に関心のある方、今現在でも家庭教育スキルの高い方が参加されることもありまして、この就学時健診等については、言い方は悪いのですが、家庭教育に興味のない方も一堂に集まるということで、家庭教育についての講座を行うのには非常にいいタイミングであるというふうに考えておりますので、今年度以降も引き続き実施したいと思っております。なお、今回、前原小学校につきましては、例年行っているのですが、学校との調整の関係で、中止にさせていただきたいという申し出を受けて実施できておりません。

続いて、デジタルデバイド対策事業です。「はじめてのオンライン体験『Zoom入門編』」、次のページになりまして「はじめてのスマホ体験『スマホの基本とQR決済』・『スマホの基本とLINE体験』」等については、ソフトバンクとの共催事業ということで実施しておりまして、高齢者の方、やはり今現在スマートフォンを使っているいろいろな体験をしたという方が多く、どの日においても先着順での申込みとさせていただいておりますので、初日受付段階で定員が埋まってしまう人気が高い講座でございます。

続いて、「相手に伝わる話し方講座」です。コロナ禍において、いろいろな会議がリモートであったり、対面で行えないということを踏まえ、今回この事業につきましては、対面で行う参加者とオンラインでZoom等を使ってリモートで参加している方が何名か

いらっしやいました。対面とオンラインですから、今はやりの言葉で言いますといわゆるハイブリッド講座という位置づけで実施させていただきました。参加人数のほうの内訳ですが、オンラインで参加した方は10月17日が4名、このうちの4名です。24日、31日、11月6日は、それぞれ3名の方がオンラインで参加しました。

今回これを体験して思ったことですが、今はコロナ禍でもって対面で参加できないというのはもちろんなのですが、通常の日常に戻った場合においても、会場まで足を運んで参加できない人にとっては非常に価値のある取組だったと思います。先ほどお伝えした人数の大半が、子供がいて参加できなかったり、会場には来られないけど参加したいという世代の方、30代、40代の方が大半でございました。

今後もハイブリッドでの講座というのは、アフターコロナになってもやはり需要があると考えております。内容については、今オンラインでの就活等もありますので、話し方というのは自己表現する中で一番重要な部分ということで、フリーアナウンサーの鈴木久美子先生を招いて行わせていただいております。

続いて、「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」ですが、こちらは社会福祉協議会と共催で行っている事業でございます。10月については、密が回避できないということで中止の扱いをさせていただいておりますが、11月からは再開しております。

続いて、高齢者になります。「福寿大学」ですが、10月21日、11月18日、表記の内容を実施させていただいております。

続いて、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」についても、記載のとおりでございます。

そして、その他になります。「東部公民館5館合同事業」ということで、最近皆さんテレビを見ていけば聞かない日がないというぐらいに聞く言葉「SDGs」、Sustainable Development Goalsの頭文字を取った略称でございます。日本語訳にしますと「持続可能な開発目標」ということになりまして、世界的に今取り組まれている目標でございます。SDGsの目標は17の目標に分類され、その下に169のターゲット（目的）を取り上げたものでございます。今回、東部公民館5館で実施したSDGsの目標は12番目にあります「つくる責任、つかう責任」。昔、大量生産、大量消費が当たり前の時代の中、環境問題等をかなり引き起こして、公害、いろいろな訴訟も起こっております。今の自然環境を次代に残すためには、つくる側の責任と使う私たちの責任もはっきり理解した上で自然環境等を残さなければいけないという内容から、今回このような講座を企画いたしました。

内容的には、今、携帯電話をほとんどの方はガラケーからスマートフォンに移行しております。ガラケーも話によると来年度途中からは3Gが使えなくなり、今あるガラケーの携帯が使いものにならなくなるということで、このガラケー携帯電話を分解してどれだけリサイクルできるかという解体作業を行い、その後、SDGsについて、ここに

書いてある黒ラブ教授というのは、吉本芸人なのですが、東京大学の大学院で客員研究員をなさっている方です。この方は科学をみんなに分かりやすく伝えたいというテーマを持って今回この講座に参加いただいております。

参加人数のほうを申し上げます。全体で62人、これは小学生と保護者という扱いでの募集を行いましたので、男子が19人、女子が12人、保護者はお父さん11人、お母さん20人という内訳でございます。解体作業等は3階の第2・第3集会室、講演のほうは講堂で行いました。ただ、第2・第3集会室の人数的な問題もありまして、1部、2部という形で実施しております。1部の方は最初に携帯電話の解体をして、その後、講堂で講演、2部の方は1部の人と一緒に講演を聞いて、その後に2・3集会室に下がってきていただいて解体作業という変わった2部構成で実施させていただいております。

続いて、「卓球開放」については、表記のとおりです。

次ページに参りまして、「子ども春まつり実行委員会」は、年度当初の予定でこの日に第1回目の実行委員会を予定しておりましたが、この中止というのは子どもまつりを中止するというのではなく、あくまでも第1回目の実行委員会が中止となりましたというお知らせでございます。今現在、まだ飲食、模擬店という開催が不透明ということで、模擬店の実施を行わない形での子どもまつりの開催について参加希望を募ったところ、ほとんどの団体から参加したいというご回答をいただいておりますので、2回目以降では児童ホームを使って部屋割や内容の打ち合わせ等を行っていきたいと思っております。今年度は3月5日の土曜日に開催を予定しております。

団体支援事業については、「子ども日本語教室」、12月4日の人数はございませんが、12月については1か月中止をするというご連絡をいただいたため、参加人数は0人となります。

以上で東部公民館の事業報告とさせていただきます。ありがとうございました。

○大塚委員長

どうもありがとうございました。

では、続いて、三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館の令和3年9月16日から令和3年12月8日まで実施した事業について、ご報告いたします。

まず、青少年を対象とした「ハッピーサタデー事業」でございます。9月の「軽スポーツで楽しく遊ぼう！」は、コロナ感染予防により中止となりました。10月31日は、東邦大学ボランティア部の学生を講師として「親子理科実験教室」を実施いたしました。こちらは平成27年度から実施している人気の事業ですが、今回も多くのお問い合わせをいただきました。11月6日の「楽しいゲームとロープワーク」は、ボーイスカウト船橋第9団を講師にチェーン結びや本結び等

を習いました。習ったロープ結びを使ったゲームは大変盛り上がりました。三田習地区自治会連合協議会と西田喜野井町会のご協力をいただき開催いたしました11月27日の「秋のお楽しみ会 子ども落語会」は、落語家の柳家緑太さんにお越しいただきました。落語を聞いてもらうほか、扇子を使ってそばを食べる動作にも全員でチャレンジしました。

続きまして、成人を対象とした「就学時健診における子育て学習」につきましては、田喜野井小学校と三山小学校の2校で実施いたしました。三山東小学校につきましては、コロナ禍ということで学校との話し合いで中止となりました。

続きまして、「体力づくり講座～筋力UP・ストレッチ・外歩き～」ですが、11月に3回実施し、うち1回は6キロほどの外歩きを参加者の皆さんに体験していただきました。事業終了後に、運動ができるサークルを探される方もおり、日常的に体を動かそうという、よいきっかけになったようです。

続きまして、「スマホ活用講座（使い方入門とネットでお買い物）」につきましては、11月25日と12月2日に実施いたしました。12月2日の参加者が入っておりませんので、ご記入をお願いいたします。12月2日の参加者人数は、男性8名、女性11名、計19名でした。

続きまして、「ノルディックウォーク教室」は、スキーのストックのようなポールを使って歩く全身運動です。3回のうち、1回目を12月3日に実施いたしました。参加者人数がこちらにも書かれておりませんのでご案内いたします。参加者人数は、男性2名、女性13名の計15名でした。

次のページに参りまして、高齢者事業の「三田寿大学」と「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおり実施させていただきました。

その他の事業に入らせていただきます。「おひさまクラブ」は、記載のとおり実施いたしました。12月8日の参加人数ですが、お子さんが男の子1名、女の子1名、保護者は女性2名でした。当初定員となる6組の応募がありましたが、当日荒天ということで4組がキャンセルとなってしまいました。

次に、「土曜卓球開放」の12月4日でございますが、参加者人数が入っておりませんのでご案内いたします。男性7名、女性10名、計17名でございます。

最後になりますけれども、「三田公民館展示会」ですが、公民館利用団体のうち展示会に参加希望のあった5団体の作品等を展示いたしました。2日間にわたり体育レクリエーション室を会場に展示のスペースを広く取り実施いたしました。文化祭での展示を目標に作品をつくられている団体からは、展示会だけでも実施できてよかったとの声も聞かれました。

三田公民館のご報告は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、続きまして習志野台公民館さん、お願いします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館でございます。当該期間の実施報告をさせていただきます。

その前に、いくつか訂正と加筆のお願いをいたします。

まず、高齢者事業の中の事業項目が抜けておりました。ですので、「ふなばしシルバーハビリ体操」の次にでも加えていただきたいのですが、「ハッピーサロン」といたしまして事業を1つ入れてございます。こちらの実施日が12月6日（月）、時間が12時～14時まで、内容については「高齢者のふれあい広場」という形で行っております。講師は福祉団体「ふきのとう」という団体をお願いしております。参加人数でございますが、女性が9名、全体も9名でございます。備考欄については、5回開催分の1回目という形でご記入いただければと思っております。また、一番下の12月4日の人数でございます。こちらは28名の参加でございます。申し訳ございません、よろしくお願いいたします。

また、もう一つございまして、10月1日から緊急事態宣言解除ということで、事業をいくつか入れてございます。本来であれば事業計画自体をご承認いただきまして、その上で事業を実施するところではございますが、何とか事業を行いたいということで事業を行っております。ご承認がなく行った事業でございますが、1つ目が青少年事業の11月のハッピーサタデー事業「親子で楽しく！iPadではじめてのプログラミング体験」です。それと、その1つ下の「オンラインで親子クッキング」、次のページの「地域再発見講座～2021 習志野台街歩き～薬園台から習志野へ～」、それから、先ほどの高齢者事業の「ハッピーサロン」を追加いたしましたことをご報告申し上げます。

また、「ハッピーサロン」の下にございます「就学時健診における子育て学習」については、前回の事業説明の段階では、まだ学校と事業実施自体の確認が取れていなかったため記入していないのですが、こちらのほうも行いましたので、今回ご報告という形で記入をさせていただいております。申し訳ございません。よろしくお願いいたします。

それでは、事業報告を申し上げます。

まず、青少年事業の「ハッピーサタデー事業」でございます。10月2日の分でございますが、こちらは習志野台児童ホームのほうでハロウィンという形で行っております。

その下、先ほど申しましたデジタルデバインド事業の一部ということで行いました「親子で楽しく！iPadではじめてのプログラミング体験」、こちらもソフトバンクのご協力を得て行った事業でございます。

その下の「オンラインで親子クッキング」、習志野台公民館では今回Zoomを使つての事業は初めてということで、ちょっとZoomのほうでもたつきはありましたが、何とか好評を得て事業を行うことができました。

次の成人事業でございます。「家庭教育セミナー」でございますが、こちらは児童ホームのほうで行ってございます。

ページをめくっていただきまして、「習志野台第一小学校PTA家庭教育セミナー」でございます。PTAのほうからの提案をこちらのほうでさせていただいた事業でございます。この事業については、今回コロナ禍が明けたところということもございまして、若干出席の方が少なかったというところが残念でありました。

その次の「縄文時代の船橋を知る歴史講座」、こちらについては習志野台地区生涯学習コーディネーターと共催という形での事業でございます。講師には飛ノ台史跡公園博物館の学芸員の畑山先生にお越しいただきまして、1回目は公民館の教室で座学を行い、2回目は実際に飛ノ台史跡公園のほうに行きまして、実物を見ながら職員から説明を受けました。今回こういう形でやるのも初めてのことでしたし、史跡公園のほうのご協力を得て、好評のうちに行うことができました。

次が、「市民の力活用事業『手作り新聞ばぐを作ろう』」、こちらはご承認いただいて行われた事業でございます。募集人数10人に対してその日のうちに定員が埋まってしまうという形で、皆さんの手作りバッグに対する興味は意外に大きいものがあったと思われまして、3回の講座ですが、全て全員出席という形で、皆さん熱心につくられていることが見て取れました。また、この出席者の中からサークル化したいという言葉も出てまいりまして、今度1月に公民館のほうでちょっとやってみましょうかということで、部屋を使って実施をすることになっております。

次が、「地域再発見講座～2021 習志野台街歩き～薬園台から習志野へ～」ということで、毎年春と秋に行っております習志野台の好評な事業でございます。今回は薬園台駅前の広場に集合いたしまして、そこから自衛隊のほうを回って習志野駅に戻るといったようなコースでございます。こちらについても15人定員で行いましたが、12人の出席をいただいております。毎年好評の事業でございます。

次が、高齢者事業でございます。先ほどの大塚委員長がいらっしやっていただきました習志野の寿事業、防犯講話ということで、DVDを見たり、警察の方の寸劇があったり、高齢者の方に分かりやすく、また、印象深い講座ができたのではないかと考えております。

次の「ふなばしシルバリーハビリ体操」は表記のとおりでございます。

また、「ハッピーサロン」については、当初は実際にやっていただきます「ふきのとう」と相談の上でどうしますかということになったのですが、12月に入ったのでやりましょうという言葉をいただけましたので、それではということで12月から開始ということで行いました。参加者も9人ということで、前と同じような状況に戻りつつあるのかなというところです。

その次が、その他になります。まず、「就学時健診における子育て学習」、管内3校、

習志野台第一小学校、第二小学校、高郷小学校、3校とも行うことができました。

その後でございます。「おもちゃの病院」は恒例でやっている事業で、毎回30人近い方がいらして、物を大切にしましょうということでおもちゃの修理を行っております。

「将棋開放」でございます。将棋開放は、夏休み応援事業で将棋教室というのを行って小学生に参加していただき、興味を持っていただいたということと、今年は藤井聡太9段が大分活躍していることもありまして、子どもの参加がここのところ目立つようになっております。1名、2名、3名という形の少数でなかなかお子さんに来ていただけないのですが、お子様に来ていただいて、今まで来ていた、子どもたちにとってはおじいちゃん世代の方と一緒に将棋を指す姿が見られております。

「卓球開放」については表記のとおりでございます。

以上が習志野台公民館の事業報告でございます。

○大塚委員長

ご苦労さま。ありがとうございました。市民安全推進課の方から名前を書いてお手紙いただきました。

それでは、次に、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の9月16日から12月8日までの事業報告をさせていただきます。

まず、青少年対象の「ハッピーサタデー事業」です。「木工教室」で、木の枝や木の実を使ってフクロウなどの動物や昆虫をつくりました。

次に、成人対象の「大人のスケッチ講座」です。これが広報に掲載せず館報のみで募集し、なおかつ、対象も初心者なのか経験者なのかはっきり明記しなかったせいか、3名しか集まりませんでした。しかし、当日は天候にも恵まれ、参加者からは久しぶりに外で絵を描いて楽しかったとの意見をいただきました。1人ではなかなか計画しづらいことを公民館で設定することは大切だと感じました。次回からは周知の仕方を考えたいと思います。

次に、「はさまいきいき塾 なるほど仏像講座」です。評価に書きましたとおり3倍以上の応募がありまして、仏像に興味のある方がこんなにたくさんいらしたのかと驚きました。修復を仕事としている修復家の方の説明やエピソードは説得力があり、興味深いものでした。また、実際に修復した仏像を見ながらの説明は、なお分かりやすかったと好評でした。今後も講義のみではなく実際に現物を見ながら考察する講座を考えていきたいと思っております。

次のページに行きまして、「就学時健診における子育て学習」です。前回の運営審議会で計画に載せ忘れてしまっておりました。申し訳ありませんでした。飯山満地区は飯山満小学校と飯山満南小学校なのですが、飯山満小学校は昨年引き続きコロナウイルス感染拡大予防により子育て学習は行わないという学校の判断ということで、やってお

りません。飯山満南小のみ実施しました。人権擁護委員であり、市内の元小学校長でおられた佐藤絹子先生のお話をいただきました。実際のご自分の子育ての経験を交えながらのお話で、アンケートでは「もっと子供と向き合いたい」「ちゃんと話を聞いてあげたい」など、保護者への気づきの時間になったように思われました。

次の「小さな花の世界」です。こちらは季節のリースをつくりたかったのですが、大分前からお花の仕入れが必要で、ちょっとこの時期はコロナではっきりできるかどうか分からなかったので、返品もできないことから、今年度は残念ながら中止とさせていただきます。

次の「冬季はさま自然ウオーク」です。まず人数の記入をお願いいたします。男性2人、女性11人、合計13人でした。毎年春か秋に実施していましたが、休館等の関係で今年度は冬季になりました。平栗先生の講座は毎回大人気で、15名定員のところ2倍の応募があり抽選にしたのですが、当日体調を崩して2名の方が欠席となりました。当日は晴天の上に、12月にしては暖かく歩きやすい日でした。今回散策した印旛地区は、駅前の新しい家屋の群を過ぎると千年以上昔から続く村々の歴史が垣間見え、見ごたえがある地域でした。講師は自然だけではなく仏像や地理、歴史にも詳しく、参加者からは「講師の知識が素晴らしい」「植物、歴史など興味深い説明が聞けた」など、参加者全員が「とてもよかった」の高評価でした。

次が高齢者対象事業です。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は記載のとおり行いました。12月6日の人数ですが、男2人、女14人、合計16人です。

次のページに行きまして、「飯山満寿大学」です。10月は市川国際交流協会でお仕事をされているマハルジャン・アマタさんが講師になり、ネパールの文化についての講座をさせていただきました。文化遺産、食文化、お祭り等のお話を写真を見せていただきながら説明していただき、また、ネパールの民謡の歌と踊りもを見せていただきました。11月は映画鑑賞を行いました。

次に、その他対象、「ゆびとま子育てサロン」です。5月から年間9回計画でしたが、11月にやっと今年度初めて実施することができました。

次の二宮飯山満地区町会連合会と飯山満中学校等の共催の「第7回手作り防災訓練」ですが、こちらは9月の段階で学校とも話し合い、中止と決定しております。

次の「はさまロングウオーク」です。まず、参加人数の記載をお願いいたします。男5名、女21名、合計26名でした。例年ですと公民館に戻ると地区連の方がすいとんをふるまってくれていたのですが、今年度はコロナ禍で館での飲食が難しいため本当にウオーキングのみの募集となり、参加希望者がいらっしゃるか心配しておりましたが、当日の朝まで飛び込みで申し込みがあるほど集まりました。好天に恵まれ、今年度国の史跡に認定された取掛西貝塚をはじめ、飯山満周辺の神社や寺を巡りながら7.3キロのウオーキングを楽しみました。アンケートでは、「近くに住んでいても知らない寺社など

が分かり、とてもよかった」など、全員が高評価でした。

飯山満公民館の報告は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、最後に薬円台公民館さん、お願いします。

○薬円台公民館長

薬円台公民館の該当期間におきます主催事業、主立ったところからご報告をさせていただきます。

まず、青少年を対象としました「ハッピーサタデー推進事業」は、10月と11月に記載のとおり開催をいたしました。そのうち、10月の「南極を知ろう！見よう！さわろう！」は、企業の社会貢献活動の活用ということで講師に来ていただき、映像とともに南極の越冬隊に実際参加した体験をお話ししていただきました。持ち帰られた氷を少しずつ溶かして、何百年か前の空気がはじけていく音を聞いたり、防寒服を触ってみたり、小学生にとっては得難い体験になったのではないかと考えております。

「本館家庭教育セミナー」は、10月と11月、記載のとおり開催です。そのうち、10月の分は防災対策ということで、コロナ禍でもふだんから準備ができ、家でできるものを家族で一緒につくってみようということで、SLネットワークの方を講師に開催したものでございます。同じく11月には親子でプログラミング。小学生は学校で教えてもらっていますが、親はその様子を見ることはできないので、子供と一緒に体験することにより子供たちがこういったタブレットでの学習をしているんだということと共に体験できたということで、大変好評でございました。

「薬円台小学校PTA家庭教育セミナー」に関しましては、本来、家庭教育セミナーであれば3回以上の開催という縛りがあるのですが、コロナ禍ということで開催自体をどうしようと役員さんのほうで協議していただき、こんな時だからこそ命の大切さを子供たちと親御さんにも知ってもらおうと、「いのちの授業」1回のみ開催をいたしました。

成人事業の「太極拳講座」に関しましては、記載のとおり開催でございます。日頃ほとんど体を動かさず習慣のない方が集まりましたので、寒くなってきた時期でもあり、ストレッチを十分にした上で体を温めて事故のないようにやっていただきました。基礎、基本ということですので、ゆったりとした動きと呼吸法を中心に3回の講座を終えられました。日常にも取り入れていきたいという声も多く聞かれ、「3回では物足りなかった」ということもありましたので、今後の参考にしていこうと考えております。

「郷土文化講演会」に関しては、郷土資料館との共催で、今回は視点を変えて海の和船、今はほとんど使われなくなった木で船大工さんが一個一個手づくりをした和船を市に寄贈を受けたものを保存しているのですが、船橋というのはもともと海のまちという

側面も持っていたのだということを改めて参加の方にも知っていただく機会になったと考えております。

高齢者を対象とした事業としましては、「やくえんだい福寿大学」「ふなばしシルバーハビリ体操教室」がございますが、記載のとおりの内容でございます。

その他では、「カンガルーぽっけ」。10月は残念ながら中止となりましたが、11月から再開をしております。

「就学時健診等における子育て学習」としましては、薬円台小と薬円台南小学校では記載のとおり開催をいたしました。七林小は研修については学校側の判断で中止となっております。

以上です。

○大塚委員長

皆さんコロナの中で大変ご苦労いただきまして、誠にありがとうございました。また、三田の松下館長さんと飯山満の押野館長さんには、忙しい時間にちょっとお邪魔させていただいてありがとうございました。

それでは、公民館5館全てのご報告をいただきました。委員の皆さんには、ご質問、またご意見ありましたら、いつものとおりでございますが、よろしく願いいたします。いかがでしょうか。

○加瀬委員

東部公民館さん、子育て支援事業ですけれども、ほかの公民館さんと比べると参加人数が極端に多いですね。これはやはり地域性とか利便性とかいろいろあるかと思いますが、何が要因だと思われませんか。

○東部公民館長

難しい質問ですね。

○加瀬委員

子供が多いとか、いろいろあるかと思うけれども。

○東部公民館長

今、加瀬委員おっしゃるように、子供の人数がこのエリアは多いほうです。また、それぞれの家庭が核家族化しているということもあって、いろんな同じ悩みを持った方と一緒に分かち合いたいというところが子育て支援事業に参加するきっかけになっているのかなど、都合のいいように解釈しております。場所によっては親御さんと一緒に住んでいる、船橋市内でも2世代、3世代のところもあるかと思うのですが、特に東部公民館周辺のエリアは、旦那さん勤務、奥さん専業主婦、または、奥さんも働いていらっしゃるという家庭が多いというふうに推察しております。

○加瀬委員

「アイアイ」や「ランラン」はできなかつたけれども、これもどちらかというとい

ですよ。見ていると、「アイアイ」や「ランラン」は若いお母さんたちのコミュニケーションの場になっている。だから非常にいいことだと思うけれども、前にもここで話ししましたように、今の若いお母さんと言って縛ってしまえばそれまでなんだけれども、せっかくボランティアさんが七夕で笹をやっと見つけてきて笹の飾りをつくって渡したら、玄関の前に捨てて帰っていったとかの話がありました。作られたボランティアさんの気持ちを察して頂きたいと思うところもありますね。いずれにしても、若いママさんたちがこういうふうコミュニケーションの場を取れることは非常にいいことかなと思いますので、今後も頑張ってくださいように思います。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○大塚委員長

ほかの方、いかがでしょうか。

○加瀬委員

もう一ついいですか。全公民館を見させてもらって、どちらの公民館さんでも体操の参加者がみんな多いですね。コロナ禍で高齢者が家にこもっていて、体を動かしたいのかなというのも一つ考えられるのですが、私共の町会の中の公園で体操をやっているグループがあるんだけど、寒い中でも30人ぐらい来てやっています。前はそういう傾向はなかったけれども、コロナになってから特にそういうふうに見受けられます。お年寄り体が動かしたい。うちにこもってなくていいことですけどね。これから各公民館さん、いろいろ事業を計画されると思うのだけれども、こういう高齢者を対象にした体を動かすこと、どんどんやってもらったほうがいいと思います。

○大塚委員長

ほかの方、いかがでしょうか。

○牧野委員

東部公民館さんの「相手に伝わる話し方講座」の評価のところ、すみません、私、読み下せなくて。「仕事上の都合により顔出しができないことを理由に参加した人」、オンラインで顔出しをしないで見るだけで参加をする。Zoomではないということですか。

○東部公民館長

もちろん音声は届いておりますし、オンラインで参加した方も会場の皆さんに音声が届くような機器を使って参加しております。

○牧野委員

画面にちゃかちゃかと出ている中に出るのが嫌だということですか。

○東部公民館長

実際会場にいらっしゃる方メインでの講座の中で、それを隣で見ている感じでの参加というのが、通常のZoomだと皆さん参加者の顔がいっぱい出ます。中にはそういう方も

いますけれども、嫌な人はNo Imageで顔を出さないで声だけ参加するというやり方を取っております。

○牧野委員

分かりました。ありがとうございます。

○大塚委員長

あとどうですか、よろしいですか。

それでは、事業報告の決を採るということでいいんですね。

公民館事業報告を今いただきましたので、各公民館一括してご承認の採決を採ることといたします。ご承認をいただける方は、挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

全会一致でご承認をいただきました。ありがとうございました。

続きまして、公民館の事業計画のほうに移らせていただきます。12月9日から3月31日までについて、各公民館よりご報告をお願いしたいと思います。

それでは、同じように東部公民館さんから計画のほうをお願いいたします。

○東部公民館長

それでは、東部公民館の令和4年3月31日までの事業計画ですが、事業報告のほうで皆さん前回できなかったということでかなり説明が濃かったものですから、時間が延びております。主立ったところで割愛しながらご説明させていただきたいと思っております。

「ハッピーサタデー事業」につきましては、全10回中の6、7、8、9、10回を行う予定で、1月22日に予定しております軽スポーツフェア、これについては例年では6月の実施予定でありましたが、令和3年度は市長選挙が6月30日に実施されるということに伴い、6月中の開催が難しいということで年度当初から日程を変更して、1月に繰り下げての計画でございます。また、先ほど、第1回子どもまつり実行委員会を中止というお話をいたしました。予定はこちらに記載のとおり3月5日の土曜日、前原児童ホームを会場に計画を進めております。

続いて、成人事業、「子育てサロン『ランラン』・『アイアイ』」「おしゃべり広場」「絵本LIVEはらぺこあおむし」等については、記載のと通りの計画でございます。

続いて、「家庭教育セミナー『二宮小学校PTA家庭教育セミナー』」ですが、こちらは元劇団四季劇団員である園田真名美先生をお招きしての講座になっております。

続いて、「いけばな教室」については、東部公民館1階のロビーで毎年飾り花を展示して下さっている東部茶華道協会さんの協力を得て、クリスマスでありながら正月のお花を、午前と午後の2回に分けて実施をいたします。

続いて、「はじめてのスマホ体験事業」については、記載のとおり実施いたします。

続いて、「はじめての韓国語」です。東部公民館で語学の講座は久しく行っていませ

ん。東部公民館においては日本語教室という形で外国から日本に来た方についての日本語指導、こちらは国際交流協会等の協力を得て行っておりますが、今回は逆に外国語についての講座をやってみようということで取り組んだものです。時間帯については、19時から20時、夜間の時間帯、韓国に興味がある若い方をターゲットに、仕事を終わって帰ってきたタイミングでの受講が可能な時間帯を設定しています。今現在コロナ禍において韓国旅行がなかなかできない状況でございますが、ここで初歩を学び、また、それぞれが学びを深め、アフターコロナになったときには皆さんで韓国旅行に行って、ちょっと今は日韓関係が冷え切っておりますので、少しはいいニュースにでもなればというふうにも考えております。

続いて、こちら新しい事業になりますが、「明治安田生命協力事業（健康づくり栄養講座）」です。こちらは明治安田生命が会社を挙げてCSR（地域貢献）を行いたいということで、公民館の全国組織である全国公民館連合会のほうにお話を投げかけ、その一部として船橋市についても事業を行いたいということでお話があったものです。今年度急遽、明治安田生命からの提案でありましたので、実施した上で令和4年度以降全ての公民館でもどの程度できるかも含めて考えるための実施でございます。この事業については、健康づくり、栄養講座と、ページをめくったさらに次のページの一番下に防災講座、このような講座をラインナップしているということですので、東部公民館ではテストとして今回実施させていただきます。

続いて、またページが戻りまして「健康体操教室」です。話術の巧みな中島先生のご指導により、この事業は非常に好評でございます。今年度も先ほどフレイル予防ということではございませんが、高齢者がより体を動かして、アフターコロナになっても健康でい続けられるように実施したいというふうに思っております。

続いて、「福寿大学」でございます。クリスマスコンサート、落語、医師のお話、船橋の魅力〈再発見〉という形で4回講座を予定しております。落語につきましては、金原亭馬玉さん、この方は2015年に真打になっていらっしゃいます。ちなみに、クリスマスコンサートのほうも打楽器とホルンの演奏会を予定しております。

続いて、「シニアのための応援セミナー」です。こちら全4回の講座を予定しております。2月15日（火）には、こちらもお年寄りが大好きな落語、三遊亭円福さん、この落語家も真打でございます。

続いて、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」「卓球開放」については、記載のとおりのおの予定をしております。

続いて、「地域ふれあいコンサート『人形浄瑠璃』」、2月は船橋の音楽月間ということで、船橋市内の数々の公民館でふれあいコンサートが開催されます。東部公民館は今回は、「コンサート？」と思うかもしれませんが、人形浄瑠璃を三味線の音色に合わせてみんなで楽しもうということでの企画でございます。定員については今現在の予定

で50名と入っておりますが、以降のコロナの感染状況においては、募集時期にもう少し定員を増やせたらいいなと思って、今後検討していきたいと思っております。

最後が、先ほど言った「明治安田生命協力事業」ということで、防災講座について行います。

「日本語教室」については、記載のとおりのご予定でございますが、12月11日、18日は中止ということになっておりますので、削除のほうをよろしく願いいたします。

東部公民館からの事業計画については以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続きまして三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館の令和3年12月9日から令和4年3月31日までの事業計画についてご説明いたします。

青少年の「ハッピーサタデー事業」、12月はフラワーアレンジメント教室でクリスマスのアレンジ、1月はパラスポーツとお正月遊びを実施する予定としております。

次に、成人事業でございます。「ノルディックウォーク教室」は、先ほど事業報告でも説明いたしました3回中の2回、3回目です。近くの田喜野井公園を歩く予定となっております。

続きまして、高齢者事業の「三田寿大学」は、マリンバ奏者の宮野下シリュウさんによるクリスマスコンサートをはじめ、記載の内容を実施してまいります。

次のページに行きまして、健康づくり課と共催の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、12月21日と2月15日に実施いたします。

次の「認知症予防講座～楽しい脳トレ&体操講座～」は、健康づくり課との共催で、5回シリーズで行ってまいります。

その他の事業、「おひさまクラブ」は、消防の三山分署署員に来ていただき、児童向けの心肺蘇生法を学んでいきたいと思っております。

最後のページになりまして、「土曜卓球開放」でございますが、記載のとおり実施する予定となっております。

簡単ではございますが、三田公民館の事業計画の説明は以上となります。

○舟橋副委員長

ありがとうございました。

委員長が席を外しておりますので、次の習志野台公民館さん、お願いします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館でございます。3月31日までの事業計画についてのご説明を申し上げます。

まず、青少年の「ハッピーサタデー事業」でございます。こどもまつりを2月12日、13日、まだ実行委員と詰めている最中でございますので、内容としては未定ということで事業を予定しております。

次の「家庭教育セミナー」でございますが、こちらは児童ホームのほうで「ママのボディメイク&ピラティス」ということで行います。

次の「習志野台第一小学校PTA家庭教育セミナー」でございます。PTAさんからの提案によって行われるものでございます。全3回シリーズのうちの2回目、3回目が今回行われることになっております。

次のページに移りまして、こちらはリベンジ企画ということになりますけれども、3年越しの「超初心者のためのオカリナ教室」になります。昨年、一昨年とコロナ禍のために、吹く楽器ですので事業が行われなかったということもありまして、今年何とかここでオカリナ教室を2回シリーズでやろうと。楽譜もなく、伝えるだけで吹けるようになりましょうということでの企画でございます。

高齢者事業でございます。「習志野台寿大学」については表記のとおりでございます。

また、「ふなばしシルバーリハビリ体操」、それから、「ハッピーサロン」をここから通常どおり行いたいと考えております。

また、デジタルデバイド対策ということで、シニア向けのスマートフォン講座を2回続けて行います。どちらもソフトバンクのご協力を得てやるということになります。

「習老協支援事業」でございます。事業実施については、なお検討ということで習老協のほうから伝えられておりますので、実施については未定という形になるかと思いません。

「地域ふれあいコンサート『和と洋の共演～箏とバイオリンとコントラバス～』」でございます。今回は箏の元井美智子さんにご依頼いたしまして、元井美智子さんが今実際に「弦と絃と弦」というツアーを組んでいらっしゃるということで、それと同じメンバー、箏のほかにバイオリンとコントラバスの3つの弦でのコンサートということで今回は行います。

その他、「おもちゃの病院」「将棋開放」「卓球開放」についても、このとおりやっけていきたいと考えております。

事業については以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、次に飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の3月31日までの事業計画をご説明します。

初めに、青少年対象の「ハッピーサタデー事業」です。12月は万華鏡作り、1月は発

酵食品について、栄養士さんのお話を聞いてからみそ作りをします。3月はアースドクターによる子供環境科学教室です。

次に、冬休み宿題応援企画で「書き初め教室」になります。毎年、東葉高校の先生と書道部の生徒さんに講師をお願いしておりましたが、ちょっと都合がつかなくなりまして、今年度は県立芝山高校の先生と書道部の生徒さんをお願いすることになっております。募集期間が終了しまして31人の応募があり、抽選で15名としたところです。

次に、「本館家庭教育セミナー」です。飯山満南小学校と共催で、キャリア教育を2回講座で行います。職業について学んだ後、自分が何になりたいか考えてきて、2回目に発表する予定です。6年生を対象に行います。

次に、「二宮中学校職業講演会」です。日時、講師等はまだ未定のままです。

次のページに行きまして、「サイエンス&マジックショー」です。10月末時点で子どもまつりの開催についての注意事項では、事前受付や会場入り口での入場制限はもちろん、各会場でのコロナ禍における施設定員を超えないようにすると出ておりまして、だとすると、とても例年どおりの子供まつりの開催は難しいと考え、その代わりに子供対象のサイエンス&マジックショーを講堂で事前受付で開催することとしました。楽しみながら子供たちの知性や感性を育成することを目的としています。

次に、「風船マンのバルーンショー」です。こちらは児童ホームで記載のとおり行います。

次に、成人対象の「スマホ活用講座『LINE 体験』」です。デジタルデバイド事業の1つです。スマホの基本とLINEについて学びます。

次に、「はさま文学散歩」です。こちらは当初9月に開催予定でしたが、休館により1月に延期したものです。市川市ゆかりの文学者と作品の紹介板等を巡りながら、文学について学びます。

次に、「ボランティア養成研修」で、デジタルデバイド事業の1つのZoomの使い方です。飯山満公民館には11名の生涯学習コーディネーターがおりまして、寿大学やいきいき塾、自然ウォークなどの事業の企画やお手伝いをいただいています。今回は、コーディネーターにこれを学んでもらい、来年度以降の事業やコーディネーター同士の会議に活かしてもらおうと思っております。

次のページに行きまして、「現役世代のための投資講座『入門編』」です。ふだん公民館になじみのない現役世代の方々へ公民館を知っていただこうと企画しました。始めるにはハードルが高い投資についての基本を学びます。

次に、高齢者対象の「飯山満寿大学」です。12月から2月まで記載のとおりに行います。2月の閉講式には、五錦雄互さんをお呼びして三味線を演奏していただきます。本来なら懇親会も行うところですが、今年度は予定しておりません。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、その他対象の「ゆびとま子育てサロン」

は記載のとおり行います。

最後になりまして、「WASURENAI 3.11 防災研修会」、二宮飯山満地区町会連合会と共催で、今年度は防災システム研究所長の山村武彦氏をお迎えして、「新しい視点での地域防災について」というテーマでお話しさせていただきます。

1つ訂正をお願いします。共催のところに「二宮飯山満地区町会自治会連合会」と記載してありますが、ここの「自治会」を消していただいて、「二宮飯山満地区町会連合会」です。申し訳ありません。

飯山満公民館は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、最後に薬田台公民館さん、お願いいたします。

○薬田台公民館長

薬田台公民館の該当期間におきます主催事業から、主立ったところをご説明申し上げます。

まず、青少年を対象とした「ハッピーサタデー推進事業」です。これは記載のとおり予定をしております。

次に、「子どもまつり代替事業（仮）」は、感染状況も想定が難しく、地域団体の皆様方にご協力のお願いも難しいということで、児童ホーム及び公民館職員でどうにかできるものを、予定しておりました3月6日（日）の日程は変えずに、大道芸、ジャグリングなどの方をお呼びしまして、子供たち、親子連れ等々、幅広い層に楽しんでいただけるのをやろうというところまで決まっております。

その次に、「影絵劇」、これは12月19日、影絵劇団かしの樹さんをお招きしまして、対象を幼児親子と小学生ということで公演時間も2回に分けて、各40人ずつぐらいということで企画を今進めております。

続きまして、生涯学習コーディネーターの皆さんと企画を進めまして、ピアノ奏者の伊藤さんをお招きしましたコンサート。本来でしたら10月、11月頃に秋のコンサートとしてやっていたのですが、コロナで開催が延びて12月のこの時期ということになりました。

同じく生涯学習コーディネーターとの企画で、「千葉ジェッツふなばし講演会」です。現社長でいらっしゃる田村さんをお招きすることが可能になりました。皆さんご存じのとおり、数々の大会で優勝して、船橋の名を全国に広めてくれています。オリンピックでも活躍した選手もいるジェッツふなばし、その立ち上げから現状の努力といったところを、皆さんにお伝えいただければと声がけをさせていただいたものでございます。

次は「防災講座」です。地域の課題ということで防災というのは切っても切れないものでございます。親子対象の講座を10月に開催しましたが、もう少し広く在宅避難とい

うことで、準備できるもの、備えておいてほしいものということでご提案をさせていただければと企画しているものでございます。

その他、デジタルデバインド対策の「スマートフォン講習会」は、初心者向けの親子プログラミングは前回もやったのですが、好評でお申し込みをいただいても抽選に外れてしまった方がかなり多くいらっしゃいまして、ぜひ再度開催してほしいという声を受けて、3月ぎりぎりの年度末になりますが、もう一度ソフトバンクの協力のもと開催をしようとしているものでございます。

「やくえんだい福寿大学」は、実行委員とも話しまして、2月頃になってインフルエンザも含めて感染状況が不明でありますので、今回は1月で最終とさせていただいております。

最後に、「ふなばし音楽フェスティバル薬田台ふれあいコンサート」です。今年度も開催を予定しております。ピアノコンサートということで、ピアノ奏者の金益さんをお呼びしまして、楽しいひととき、生の演奏に触れる機会を企画させていただいております。

薬田台は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

全公民館、皆さんに計画のお話をいただきました。

それでは、委員の方からご質問、またご意見がありましたらお願いしたいと思いますですが、いかがでしょうか。

○加瀬委員

東部公民館さん、確認ですが、シルバーリハビリ体操の12月28日、これは本当にやるんですか。

○東部公民館長

はい。通例の公民館ですと毎月第〇何曜日という形で公民館開催の日程を取りますが、東部公民館は非常に利用率が高く、毎週何曜日、何時からということになりますと、その時間帯は使えない団体にかなり影響が出てしまう。ただ、一番最後の5週目だったりすると、公民館の利用団体は大体4週で1クールという言い方は変なのですが、やっておりますので、できるだけ月の最後の日に日程を設定させていただいていますが、恐らく健康づくり課の職員さんは嫌な顔をしております。

○加瀬委員

参加者も嫌じゃないのかね。嫌なら来ないからいいんだけども、ご苦労さまです。

○大塚委員長

ほかはどうでしょうか。

金子館長さん、公民館事業というのは基本的には社会教育、それが基本ですよ。前

にもちょっとお話ししたかもしれませんが、ソフトバンクさんだけが全公民館の協力をしてくれる。今回また明治安田生命さんがいろいろな協力をしてくれたり、当然やっていらっしやる。この辺で聞いた人なり何らかが、今までは声がないと思うのですが。

○東部公民館長

今、行革、行革という話の中で、指定管理者というのがすぐ皆さん結びつくと思うのですが、あくまでも民間の活力を活用させてもらおうという趣旨の中では、指定管理以外の、民間事業者が持っている能力ですとかそういうものを社会教育に取り入れても、これは言い方を変えたら民間活力を取り入れたという扱いもできるのではないかということ、やはり国の中教審等の答申の中でも、もうちょっと積極的に民間教育事業者の力を取り入れて社会教育を進めてもいいのではないかというお話も出ている中での恐らく判断があるのだろうというふうには……

○大塚委員長

いや、私は悪いとは言っていないで、基本的にそういうものを継続的にやるということ、当然来た人がそこに声がかかって契約するなり何なり、そういう形が当然入ってくる。ですから、館長が言われる部分においては確かにそのとおりで、ある面では建前だねという話にもなり得るしというところがあるので、プロだから教えてもらえるのはありがたい、それは大変ありがたいのですが、全部の公民館が一社だけのところでやるということが果たして今後どうかなという心配論だけです。ですから、本当だったらもう一社ぐらい、要するに複数社が入ってきてやるというならお互いが公平になると思うので。

○東部公民館長

これはまだはっきり分からないのですが、このような取組をそれぞれの民間事業者が、今現在、民間事業者のSDGsだとも思うのです。それぞれの民間企業が今後生き残るためには、どのような手法を用いて地域貢献に回していくことによって、最終的にはもちろん委員長がおっしゃるように、その会社の収益にもつながるかもしれないのですが、それはそれで私たちのほうで選択できる立場であればいいなというふうに今は思っております。

○大塚委員長

そういう民間活力を活用するということは悪いとは思わないのですが、基本的にそこが商業関係の中にどんどんどっぷりつかっていく前に、本庁で私が、社会教育という名目だけでやることは難しいのではないですかという話をしたじゃないですか。でも、それをきちんと抑えるんだというのが今の本庁の筋ならば、その辺の部分が本当に大丈夫かなと。

○東部公民館長

恐らく今後の流れなのですが、今現在ソフトバンクだけだというふうに思われていま

すが、実際KDDIさんもこの事業に対しては協力いただいています。あと残りはドコモですね。

○大塚委員長

だから僕が言いたいのは、1社だけではなくて8つ来ているんですよということになると、やはり純粹に企業として地域社会に奉仕するという部分では1社よりはいいのかなと思う。だから、公民館とすれば社会教育という問題は確かにありますが、それだけで果たしてこのご時世で経営が成り立つかという、大変難しいのかなと思うのです。ですから、また何度も審議会でも話が出るように、公民館の使用方法についてという問題がどうしても出てくる。でも、市民にとっては船橋の公民館があることによって、どれだけ寄与されて、市民の方が喜んでくれるかというのは、金銭面においてもいいと思いますよね。その辺がこれからの問題として出てくるかなと思います。苦情でもなければ、ただお話をしているだけなので、よろしく願いいたします。

ほかに何かないでしょうか。お願いします。

○吉田委員

飯山満公民館さん、私も不勉強ですけども、投資講座というのが出てきました。これって昔からあったかしら。ごめんなさいね。こういうのは初めて公民館として……

○飯山満公民館長

当館も初めてなんですけれども。

○吉田委員

それで聞きたいのは、どんな内容というか、どの辺のところをターゲットにしてつくるのかなとか。

○飯山満公民館長

退職前の方たち、現役で今働いている方たちに来ていただきたいので、そのようにチラシをつくって募集しようとは思っております。投資を始めたいがどのように始めたらよいか分からない。やっていない人にとってはハードルが高いと思います。別にはじめなさいということではなくて、日本証券業協会登録の金融・証券インストラクターをお呼びして投資とはこういうものだよということを説明していただきます。そこに現役の方が来ていただいて、退職後も公民館に足を向けていただきたいというのが目標なのですが、果たして現役世代の方がどれだけ館報を見ていただけるのか、広報を見ていただけるのかは、ちょっとこれからの応募状況を見ないとわかりません。

○大塚委員長

これは、まだやっていないから私は発言しないけれども、今は100円から投資できるよとか、いろんな部分が出ていまして、それが悪いわけではなくて、そんな安くてできるのと。でもはっきり言って、投資を素人の方がもしやっかとしても利益を得るということはまずないので、この辺は十分に話の内容を確認しておいたほうがいいですね。そ

の気にさせるようなあれになってくると……。

○飯山満公民館長

わかりました。確認しておきます。

○大塚委員長

ならいいですけどね。やはり両方があるんだということが聞くほうにしてみれば大事だし、プロの人でもはっきり言えば全員がプラスになるわけではなくて、24時間見ないとこれになりますから、その辺の怖さがね。

○吉田委員

ただ、今委員長が言っているように、扱い方によっては逆の面が出てきたりする可能性が十分あるので、専門的に毎日テレビでやっているとか、そういう人ならいいけれども、「これはいい」なんて言われて、「はい」と言って500円だというような話になってくると、ちょっとその辺が怖いのかなというふうな気もしたので、どの程度の……。

○飯山満公民館長

講師と内容を詰めていきたいと思います。

○吉田委員

人間、欲があるからね。中にはお母さん方がパチンコにはまっちゃってとか、そんなのがあるので。というふうに思ったので老婆心ながら。

○大塚委員長

私は大丈夫だと言って、もしそうなったときに、「あの人が公民館でやっていたから私は……」というような、恨むようなことに……。

○飯山満公民館長

ならないようにしたいと思います。

○牧野委員

これ証券会社の方が見えるわけでしょう。

○飯山満公民館長

証券会社ではなく日本証券業協会のインストラクターの方で、本当に初めての、株とはこんなものだよというところからの説明のようです。

○牧野委員

まあ、株を売る業者さんですよ。

○飯山満公民館長

そうですね。

○牧野委員

とすると、それよりも日経新聞を使った方がいい。そのほうが正しいと思います。

○舟橋副委員長

公民館さんの事業で出てくると、やっていいのかなというふうに、推奨されたみたい

になるので、そう思われぬように気をつけて。

○飯山満公民館長

はい。気をつけて、題材を選びながら進めたいと思います。

○舟橋副委員長

さっきから明治安田生命とかソフトバンクとか出ていますけれども、やっぱりこういう公の公民館として、「ああ、ソフトバンクを推しているんだ」とか、「ああ、株もいいんだ」みたいにならないようにしていかないと。

○大塚委員長

もう館長さんも知っているけれども、ここにおられる先生方も古いし、いろんな経験をしているので、そういう部分が心配だなというのがあったので、ぜひ。でも知ること、勉強することはいいことなので。ありがとうございました。

あと、ご意見ないでしょうか。

○牧野委員

ソフトバンクとか明治安田生命とか、そういう企業名が出てくるので私たち引っかけると思うんですね。なので、ここに載せるときもソフトバンクではなくて携帯会社ぐらいで、いらっしゃって私はソフトバンクの者ですというのはしようがないかなと思いますけれども、こういうところに載せるのは携帯会社ぐらいにしておいたほうがいいのかと思いました。

○大塚委員長

それについては我々としては意見を言うので、東部公民館さんのほうでお話し合いをしていただいて、いや大丈夫だよということなら、それで構いませんので。ありがとうございました。

それでは、公民館の事業計画 12 月 9 日から 3 月 31 日までについて、採決を採らせていただきます。全公民館さんを一括して承認の採決を採らせていただきます。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。それでは、公民館事業計画については、ご承認をいただきました。

続きまして、議題 3 「社会教育関係団体登録申請（新規）について」ということで、東部公民館を活動の拠点とする団体様より新規の申し出がありました。

それでは、東部公民館の金子館長より、ご説明をお願いいたします。

「非公開審議」

議題3の社会教育関係団体の登録（新規）についての審議について、船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報（個人に関する情報）を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため非公開となります。

また、非公開審議であるため、船橋市附属機関等の会議の公開実施要項第8条第3号の規定に基づき、記載を省略します。

議題3 社会教育関係団体の登録（新規）について 承認

○大塚委員長

ありがとうございました。全会一致で承認させていただきました。

それでは、次第（4）になりますけれども、今日は木下先生に来ていただいたので、一言皆さんにお話しただければありがたいのですが、いかがでございましょう。

○木下委員

前原中学校の木下です。よろしく申し上げます。

各種公民館の活動計画、また日々の活動の中で、学校と共催していただいている部分、あとは学校の関係のPTA家庭教育学級、そういったものも共催していただいている関係がありまして、本当にありがとうございます。

本校もそうですし、いくつかの小学校、中学校でも、やはりコロナの関係で今年度は計画を中止させていただきたいというような部分がありまして、大変ご迷惑をかけているところです。

ただ、幸いにも、例えばうちの学区でいいますとこんなに大きな津田沼の駅を控えている学区の割には、小学校も中学校もコロナの陽性者の数としては非常に低いです。報道、ニュース等で西船ですとか船橋の駅を抱えている学区ではちょっと大変なことが今年度も昨年度も起こって、学校現場は大混乱なところがあったのですが、幸いにもこの地区はなく、やはりこれは地域の方々やいろんな部分でのご協力があったの学校教育活動が進んでいるところかなというふうに日々感じております。

地域の中学生、小学生が、やはりこういう公民館の中でいろんな地域の方々と接していくことが、いずれは地域に戻ってくる人材として、地域を愛するとか郷土愛というものにつながっていくのではないかなと考えておりますので、今後ともぜひ学校のほうも

ご協力いただきながら子供たちの少しでもいい成長にご尽力いただければ大変助かります。ありがとうございます。

○大塚委員長

先生、実は加瀬さんと私は青少年問題協議会だとか児童分科会の委員になっていますが、お子さんたちの虐待問題だとかいろんなものが今ちょっと上向きになって、あと3年たったら相談所も市川とではなくて船橋で独自のものをつくるということで今動いているのですが、なかなか難しい時代になったなとちょっと心配をしていたものですから、また何か情報がありましたら教えてください。よろしく願いいたします。

○木下委員

よろしく願いいたします。

○大塚委員長

それでは、次第（4）になりますが、事務局から何かご説明があればお願いいたします。

○東部公民館長

それでは、今回その他ということで2点ほど皆さんにご連絡したいことがございます。

令和4年の2月1日付で、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、東町にある視聴覚センターを廃止するということが議会で承認を得られました。これに伴い、視聴覚センターの後は、来年の4月から、今、市場にあるふなばし市民大学校の校舎として利用するように準備を進めているところです。

視聴覚センターは、コンピューターの講習会とかの会場として盛んに、当時はIT事業と言うんでしたか、そういったことで数多くの参加者がいて、もちろんそこで活動していた皆さんが共に学んだ後に、公民館でいうサークルみたいな活動を視聴覚センターを借りて行っておりました。

会場がなくなることに伴い、今現在、視聴覚センターに5つの団体の登録があり、その中の1団体が、センター廃止後は東部公民館区の飯山満公民館を会場として使いたいと拠点変更の申し出がありまして、来年度以降は飯山満公民館の社会教育関係団体として移るということを、まず皆様にご報告させていただきます。残りの4つの団体、やはりこれもパソコンの団体、点訳の団体等の活動で、残りの公民館等に拠点変更の申し出があろうかと思いますが、もし残りの団体についても東部ブロックの公民館を使いたいという申し出があった場合には、後日改めて皆様にご報告させていただきたいと思っています。

2つ目ですが、先ほど大塚委員長に言われてしまった内容なのですが、今現在こちらのアンケートを公民館及び社会教育施設のほうで行っております。（資料配付）

これはもちろん、東部公民館の委員長の肝煎りで東部公民館からやるべきだというお話も多々いただいていたのですが、一公民館でのアンケートではなく、市全体、行革の

流れの中で市民がどういった公民館を求めているのか、また、公民館の運営方法についてどのようなことができるだろうかというのを、直接公民館利用者及び公民館をふだん利用しない方に、それぞれアンケートを11月16日から今月の28日まで行っております。

東部公民館においてもアンケートを行っているのですが、公民館を利用している方々はいくらでも回答を得られまして、今現在、東部では200を優に超えております。ただ、本来聞きたいのは、公民館を利用しない人が公民館でどんなことをできるのか、どんなことならやってもいいのか等々、その人たちの声を聞きたいということで、現在は利用している団体の皆さんに、家族で公民館を使っていない人にちょっと協力していただませんかとか、いろいろ手を凝らしているのですが、まだ30人ぐらいしか集まっています。アンケートを行う以上は、使わない人もそれなりの数がないとちょっと立ち行かないなということで、今日は皆様にアンケート用紙をお土産としてお持ち帰りいただいて、公民館を使っていない家族の方やお友達にちょっとリサーチをいただいて、集まりましたらお近くの公民館に回収ボックスみたいなものがありますので、そちらに届けていただけると非常にありがたいです。

木下校長先生、学校の先生たちにも公民館でどんなことをできたらいいかという声を、一応市内の方に限定していないアンケートですから、ご協力いただけると非常にありがたいなということで、あちらにご用意させていただいております。ぜひともご協力お願いいたします。

○牧野委員

公民館は児童ホームが入りますか。

○東部公民館長

入らないです。

○大塚委員長

結局、聞きたい人に聞けなくて、集まったものが市民の使っていない人の本当の声が聞こえるかどうかというのは判断できますかね。

○東部公民館長

そのために少しでも多くの。

○加瀬委員

この中身が違うのはどういうわけですか。

○東部公民館長

使っている人と使っていない人なので、問4と問5については、ちょっと内容を変更してあります。

○岸波委員

しない人のだけもらっていくことができますか。

○東部公民館長

できます。あそこに。

○岸波委員

30枚ほど。

○東部公民館長

そんなにいっぱいですか。

○岸波委員

来週、役員会があるので。

○東部公民館長

ありがとうございます。もし足りなくなったら、いくらでも印刷してお届けに上がります。

○舟橋副委員長

とりあえずこの1枚は私が書いてもいいわけですか。

○東部公民館長

書いてもいいです。利用する方のほうをお書きになって、下のロビーのところにありますので。

○牧野委員

北習の駅なんかに広報紙を船橋高校は置いてありますよね。もうちょっと大きく公民館と書いてあったら。

○東部公民館長

要するに、人が持って渡すなりしない限りは、置いてあっても景色にすらならず、いたずらされて、ごみで捨てられて。

○大塚委員長

アンケート調査なんて書いてあると誰も取らない。

○加瀬委員

利用しない人のほうが欲しいの。

○東部公民館長

欲しいです。喉から手が何度出るか分からないぐらい欲しいです。

○大塚委員長

利用者の人は公民館さんからちょっとこれ書いてくださいよと言えばそれで済むんですよ。ところが、公民館に全然興味がないし行ったこともない人に書いてくれと言ってもなかなか。

○加瀬委員

利用者のほうも欲しいの。

○東部公民館長

利用者のほうは、もうおなかいっぱいになっております。

○加瀬委員

いくらでもいるよ。

○東部公民館長

これ以上来ると、多分つけるほうが大変な……。

○飯山満公民館長

各公民館も利用者には実施しているので、利用していない人のほうをお願いしたいです。

○牧野委員

集計は誰がするんですか。

○東部公民館長

社会教育課でございます。

○吉田委員

今、委員長が言っていたような形で、逆に言うとやってほしいよね。町会の長としては。だって、町会だと来ていない人が結構いるものね。

○岸波委員

本当にやる気があるのかね。本気でやる気があるのかどうなのかということですよ。上の人たちが。

○大塚委員長

行政としては財政的に大変厳しいので指定管理という制度が入ってきて、それから、職員の方の人数を絞っているじゃないですか。そういう意味で公民館が金食い虫だということになれば、だんだん古いところから、利用数が少ないところからなくなってくるというのは、これは当たり前の話になってしまうと思うんですよ。そういう意味で、今こういうことで市民の方にとって大変使いやすい、安い単価で部屋を借りられるということで、PRをする最良のときだと思うんですよね。だから、若い人が、お酒は別にしてダンスでもいいし、また、外国との交流の場を持ってくださいでもいいし、いろんなことができると思うし、また、公民館を使って学習教室でもいいし、いろんなやり方があると思いますが。

○東部公民館長

今、Z世代という言葉を目にするようになったのですが、Z世代というのは、3.11を経験して、熊本地震も経験している中で、ネット環境が完全に生まれた段階から準備されていて、何不自由なく使える。こういった世代がやはり今後のいろいろな企画だったり協力してもらう方としては非常に重要だなと。いかにこのZ世代を公民館に取り込めるかというのも今後の課題の一つかなと。苦しい思いもしているから、それに対する前向きなアイデアか何かもいただければ非常にいいかなと思っています。

○牧野委員

それは学校の先生にお願いして、そういう事業を入れていただいて。

○大塚委員長

なかなか学校側もそういうアンケートという部分がすんなりと受け取られるということにはならないんです。

○牧野委員

公民館ってこういうものがあるんだというのを。

○大塚委員長

そういうことではなくて、学校は果たしてそういうものを扱う範疇であるかないかという問題でいうと、範疇ではないんです。だから、町会のほうがいいんですよ。と同時に、行政の方は真面目な方々なので、あまり枠から外れることができないんですよ。

○牧野委員

今、Z世代というのがあったから、Z世代はこちらにいるなと思ったんですけどね。

○大塚委員長

ほかの方、いかがでしょうか。

○舟橋副委員長

公民館って、名前がもう古いんじゃないですかね。今の若い人に公民館というのは。

○牧野委員

コミュニティセンターとかいうところがありますけどね。

○大塚委員長

そうだね。名前を公民館じゃなくて、もっとしゃれたハイカラな。

○東部公民館長

そのコミュニティセンターというのが、まさに今全国の中で動いている教育委員会から首長部局に役割を移していることになるんです。そうすると、何の制約もなくどんな人でも自由に公民館ではなくてコミュニティセンターを使うことが可能ですので、例えば商売をやってもいい。そうなってくると、公民館で今まで社会教育活動をしていた団体さんたちが使えなくなってしまう。

○牧野委員

公民館法から外れてしまうんですね。

○大塚委員長

なかなかこれは難しい事務を実行しているの、一番怖いのは、回答が我々と違った回答になって、それが一人歩きされるということが、実はまた問題が出てくるという気持ちがあるんです。世の中思ったとおりに行くわけがないんですけれども、老朽化してだんだんいろいろと直さなければいけないときに、果たしてお金があるかないかという問題になってくると、合併ということになる可能性もあるので。

○舟橋副委員長

このアンケートというのは、広報とかで全市民に知らされているんですか。

○東部公民館長

広報では出していませんね。

○舟橋副委員長

そんなアンケート知らなかったわとか。

○吉田委員

可能性はあるよね。僕も今日初めて聞いたから。

○舟橋副委員長

意見言いたかったわという人がいるかもしれないし。

○大塚委員長

市民にとって大事なものであるならば、どの部署であつてもそういうことを大っぴらに皆さんに周知させるというのも、やっぱり大事なことだろうとは思うんですよね。特に市民にとってすごく寄与されるということは、お金が安いということも大変寄与されているし、また、コミュニティではないけれども、いろんな人と話し合いができるという、参加申し込みがOKですよと言っているわけですから、その辺を酌んでくれるといいんですけど、なかなか難しいですね。

○吉田委員

稼働率そのものも最近は芳しくないんでしょう。

○東部公民館長

コロナ後、今現在は再開しても、恐らくコロナ前の状態の70%ぐらいまでしか回復していないと思います。

○大塚委員長

ウィークデイと土日とは違うじゃないですか。それをグラフに取れば一目瞭然ですよ。特に駅近ではなくて、街の中にあつたり昔からあるところだと、高齢者は来るけれども若い人は来ないとか、いろんな問題が出てきます。また知らないという人が多いしね。ありがとうございました。

○加瀬委員

もう一ついいですか。

○加瀬委員

どうぞ。

○加瀬委員

先ほど視聴覚センターの話が出ましたけれども、あそこは全部変わってしまうんですか。

○東部公民館長

視聴覚センターが管理している部分になりますから、恐らく5階、6階。

○飯山満公民館長

5階のホールと7階の事務所が。

○加瀬委員

あそこにあるライブラリはどこに行くの。

○飯山満公民館長

ライブラリはそのまま市民大学がDVDなどを貸すのではないかと。

○東部公民館長

貸出しも当面の間は行って、その後については需要がなければ保存資料として保管するみたいですが、当面の間は新しく市民大学校の事務局が貸出しを行います。

○加瀬委員

プラネタリウムは。

○東部公民館長

プラネタリウムは、総合教育センターの職員がプラネタリウム館の運営を担当していますので、あのままです。

○吉田委員

そのままということは、稼働するということですね。

○東部公民館長

はい。

○大塚委員長

あまり長くなってもいけませんので、ありがとうございました。いろいろご意見を賜りました。

本日の審議について全て終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。よろしくお願いいたします。

○事務局（東部公民館長補佐）

ご審議ありがとうございました。最初に机に置かせていただきました資料につきましては、事務局のほうで回収させていただきますので、ご協力のほうよろしくお願いたします。

次回の日程のご案内をさせていただきます。年明け、年度末になります3月24日の木曜日に第5回の東部公民館運営審議会を開催いたします。

長時間にわたりご審議ありがとうございました。

午後5時48分閉会

令和 4年 1月 日

議事録署名人 _____ 印